

国語科学習指導略案

4年1組 30名 指導者 星原貴光

本授業では、以下のような検証を行うものである。

- 自分が紹介したい話の中から、登場人物の性格や気持ちを想像して読み、リーフレット作成の手引きなどを活用して、紹介文を書くことができたか。

1 単元 本と友達になろう 「白いぼうし」「本は友達」

2 指導計画 (総時数16時間)

過程	主な学習活動【評価規準】	時間
課題を つかむ	1 「白いぼうし」を読み、心に残った場面について、感想を書く。	1
	2 感想を交流しながら学習のめあてを決め、学習計画を協議する。 「車のいろは空のいろ」シリーズの中から、話を選んで紹介しよう。 【関：学習への見通しをもち、進んで読書を楽しもうとしている。】	1
情報をもとに 情報を読み取る	3 モデルとなるリーフレットの構成を読み、書き方を学ぶ。 【読：中心となる語や文に注目して要点をまとめたり、小見出しを付けたりすることができる。】	2
	4 会話や行動などの叙述を基に、登場人物の性格や気持ちを想像して読む。	2
	5 色、音、においなどを表している言葉を手掛かりに、情景を想像して読む。	2
	6 場面の移り変わりなどに注意しながら読み、ファンタジーの面白さをとらえる。 【読：登場人物の性格や気持ち、情景などについて叙述を基に想像して読んでいる。】 【言：修飾と被修飾との関係や指示語が果たす役割などを理解して読んでいる。】	2
	7 前時までの学習を生かしてシリーズを読み、紹介したい話を探して読む。	2
主体的に 表現する	8 これまでに学んだ読み方を生かし、自分が紹介したい話を取り上げてリーフレットにまとめる。 【読：叙述を基に登場人物の性格や情景を想像しながら読み、紹介するために必要な部分を書き抜いたり、要約したり引用したりしている。】 【書：読んだり集めたりした資料を効果的に使い、紹介文を書いている。】	3 (本時)
	9 書いたものを交流し、よいところを見つけて感想を伝え合ったり、今後の読書計画を立てたりする。 【関：ファンタジーやシリーズ、同一作者の作品などに関心をもち、進んで読書の範囲を広げようとしている。】	1

3 本時 (14/16)

(1) 目標

自分が紹介したい話を取り上げ、叙述を基に登場人物の性格や気持ちなどをとらえることができるようにする。

(2) 評価規準

登場人物の行動や会話などの描写から、人物の性格や気持ちを関連的にとらえ、想像力を働かせながら読んでいる。 【読む能力】




(3) 指導に当たって

導入の段階では、学習の見通しをもつことができるように、リーフレットの構成や書き方を振り返らせるとともに、本単元で身に付けてきた読む力（書き抜きや要約、引用）を自覚させるようにする。

展開の段階では、会話や行動描写から登場人物の性格や気持ちをより深く想像して読むことができるように、教材文「白いぼうし」やシリーズの他の話と重ねながら読ませるようにする。また、自分の考えを友達と吟味させることで、読みをより確かなものにできるようにする。

終末の段階では、書いたものを交流し、よいところを見つけて感想を述べさせることで、読んだり書いたりする楽しさを味わわせるとともに、次時の学習への意欲を高めていくようにする。



時	過程	主な学習活動と教師の手立て・評価	
(分)	7	<p>1 前時までの学習を想起し、リーフレットの様式を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーフレットを作るためには、書き抜きや要約、引用する力が必要だね。 ・みんなが読みたくなるような紹介文を早く書きたいな。 <p>2 本時の学習のめあてと進め方を確かめる。</p> <p>登場人物の紹介文を書くには、どんなことに気を付けて読めばいいのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習では、リーフレットの「おもな登場人物」コーナーを書くんだな。 ・「三つのお願い」を読むときに学習した読み方が生かせそうぞ。 	<p>単元のまとめでは、自分が紹介したい話の人物紹介やあらすじ、お気に入りの場面やおすすめポイントなどを1つにまとめたリーフレット作りを行うことを確認させる。</p>  <p>本時では、これまでに学習してきた登場人物の性格や気持ちを想像して読む読み方が生かせることに気付かせ、学習への見通しをもたせる。</p>
		<p>3 自分が紹介したい話の中から、心に残った場面を選び、松井さんの性格や気持ちを想像して読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性格や気持ちを想像して読むためには人物が「したこと」や「言ったこと」から、つながりのある文や言葉を見付け、読み進めるといいね。 <p>4 叙述を基に、それぞれが想像した松井さんの人物像をグループで吟味する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくは、松井さんの行動（会話）から、きっと〇〇な人だと思う。 ・読んだ話は違っても、松井さんの会話や行動には、似ている所がたくさんあるんだな。 <p>5 話し合ったことを基に、松井さんの人物像を自分の文章でまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3つの紹介の書き方から、わたしは、この書き方に挑戦してみよう。 ・「白いぼうし」やシリーズの他の話を読んで分かったこと、友達との話合いなどを生かして、松井さんの人柄を分かりやすい紹介文にまとめよう。 <p>6 書いたものを交流し、よいところを見付けて感想を伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇さんの書き方は、とてもいいな。自分の表現にも生かしてみよう。 <p>7 学習の成果を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の紹介には、名前や性格などを書くといいんだね。 ・人物の絵も一緒に描くといいね。 ・会話や行動をつないで読むと、その人物の性格や気持ちが読めるんだね。 <p>8 次時の学習への期待感をもたせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色・音・においなどに気を付けて読み、場面の様子を想像しながら、話のイメージにぴったりの絵を描くぞ。 	<p>人物の会話や行動描写の中から、関連する言葉を線でつながらせ、「なぜ（どうして）～したのか（言ったのか）」などを中心に考えさせるようにする。</p>  <p>※ 登場人物の行動や会話などの描写から、人物の性格や気持ちを関連的にとらえ、想像力を働かせながら読んでいる。（ワークシートへの書き込みの観察）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 叙述を基に想像して読んでいる子どもには、語彙集を与え、読み手の興味を引き付けられるような紹介表現を工夫させる。 ○ 叙述を基に想像して読めていない子どもには、これまでに学習した性格や気持ちの読み方を学習ボードなどを使って想起させ、個別指導を行う。 <p>書いたことを読んで発表するだけでなく、なぜこのような人物として読めるのかなど、叙述に基づいた理由や根拠を補足説明しながら、お互いの考えを交流させるようにする。</p>  <p>次時は、おすすめの場面を視写したり、リーフレットの表紙絵を描いたりすることを知らせ、学習に対する意欲を高めるようにする。</p>
30	展開		
8	終末		